

# フォークスタンドアタッチメント

適応  
車種

フロントフォーク  
スタンド用

商品  
番号

29768

## ■ご使用前に必ずご確認ください■

※本商品のご使用前に最終項記載のURL(保証規定)より保証規定の内容を読み、ご理解のうえご使用ください。

※本商品の使用をもって、本書と保証規定の内容を全て理解・承諾したものとみなします。本書内の注意事項を守らず使用したことによる事故や損害について、弊社では一切の責任を負いません。

※本書は、いつでも取り出して読めるように大切に保管してください。また第三者に譲渡する場合は、必ず本書も併せてお渡しください。



**要件を満たさず使用しますと、死亡または重症に至る可能性や第三者の生命や財産を損なう可能性が想定される場合を示してあります。**



- 本商品はフロントフォークスタンド用です。適合商品以外に使用しないでください。
- 本商品はメンテナンスをするための商品です。スタンドを使用した状態で保管や長期間の使用をしないでください。
- 本商品はフロント回りのメンテナンスを行なうためのスタンドです。リフトアップ中は乗車やエンジンの始動はしないでください。



**要件を満たさず使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。**



- パッケージ開梱時や商品の取り扱い時にパッケージや商品の端面、突起、バリなどがあり予期せぬケガや事故が発生する場合があります。取り扱いの際は保護手袋を使用するなど十分に注意してください。
- 本商品のご購入後は速やかに構成部品の不具合や異常がないことを必ずご確認ください。万一お気づきの点がございましたら、ご使用前にお買い求め販売店へご相談ください。
- 安全に使用するためにリアスタンドと併用して、ご使用ください。
- 使用の際は安全確保のために2人以上で行なうことをオススメします。
- 作業は周囲の安全を確保し、水平で滑りにくい安全な場所で行なってください。またリフトアップした状態で車両が安定していることを確認し作業を始めてください。
- スタンドの使用前に、必ずスタンド各部に異常やボルト類が緩んでいないか確認してください。
- 車両の整備する箇所のボルトやナットは、あらかじめ緩めた状態にしてからスタンドを使用してください。またスタンドを掛けた状態で本締め作業は不安定となるため絶対にしないでください。



- 作業を始める前にエンジンやマフラーが十分に冷えていることを確認してください。冷えていない状態で作業を行なうとエンジンやマフラーに触れてヤケドをする可能性があります。



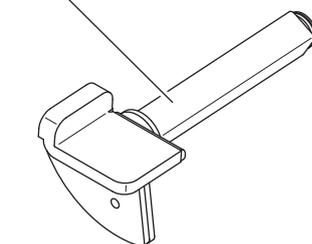
- 本商品を使用したことによる物的損害や人的損害などの保証は一切お受けできません。また商品保証は本商品のみが対象です。
- フロントフォーク下部が平面で左右対称の車両に対応します。
- リフトアップした状態で長期間使用すると、ゴムの接触面が色移りする場合がございます。また変形などの原因となります。
- フォークアタッチメントのゴム部は消耗部になります。割れや亀裂などが発生した場合は交換することをオススメします。
- 本商品の使用時に車両が転倒した場合、車両と床に挟まれて重大なケガにつながる可能性があります。作業は十分に注意し行なってください。
- 本商品の使用中に異常が発生した場合は直ちに使用を中止し、必ずお買い求め販売店へご相談ください。
- 本商品は素材や製造方法により製品個体差があります。溶接や塗装、小キズ、歪みなど程度の差がございます。
- 本商品、または本書内でご紹介した商品は予告なしに価格や仕様を変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

### 本商品の特長と仕様

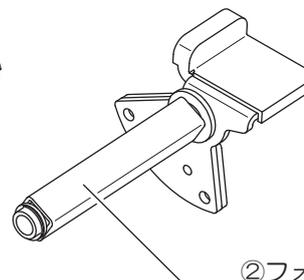
- フロントフォーク下部より支えて持ち上げるタイプのフロントスタンド
- リフトアップ面はカウンターウエイトにより常に上を向く構造

NO	品名	数量
①	フォークアタッチメントR	1
②	フォークアタッチメントL	1

①フォーク  
アタッチメントR



②フォークアタッチメントL

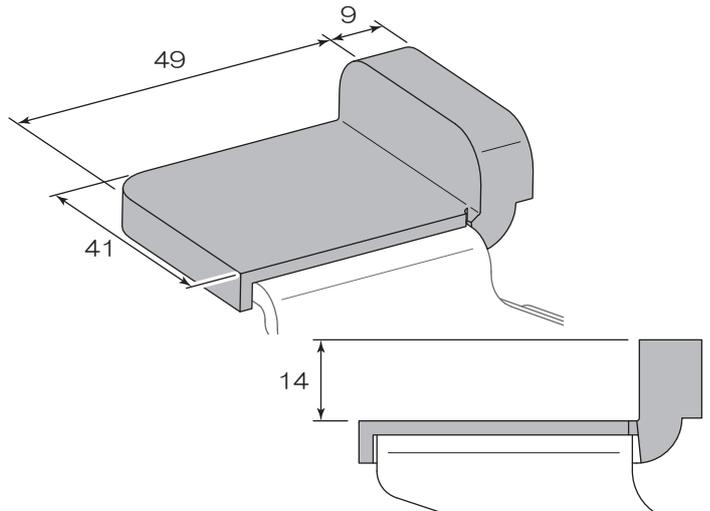
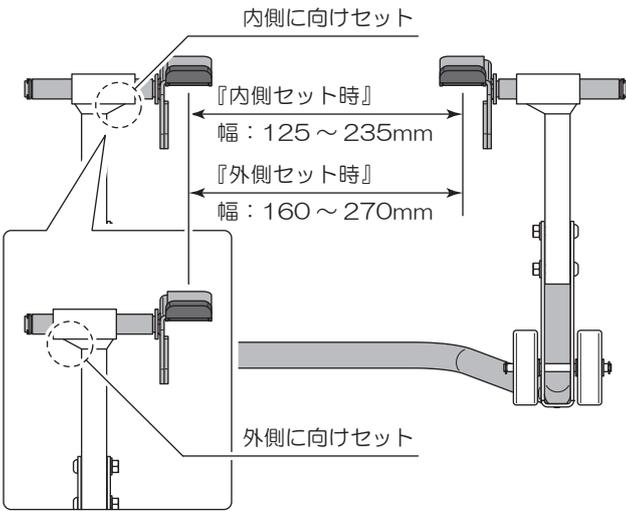


**01. アタッチメントの調整範囲の確認** ※記載寸法はスタンド組み立て時の目安としてください。

・イラストを参考に、車両に合わせてスタンドの幅と高さを調整します。

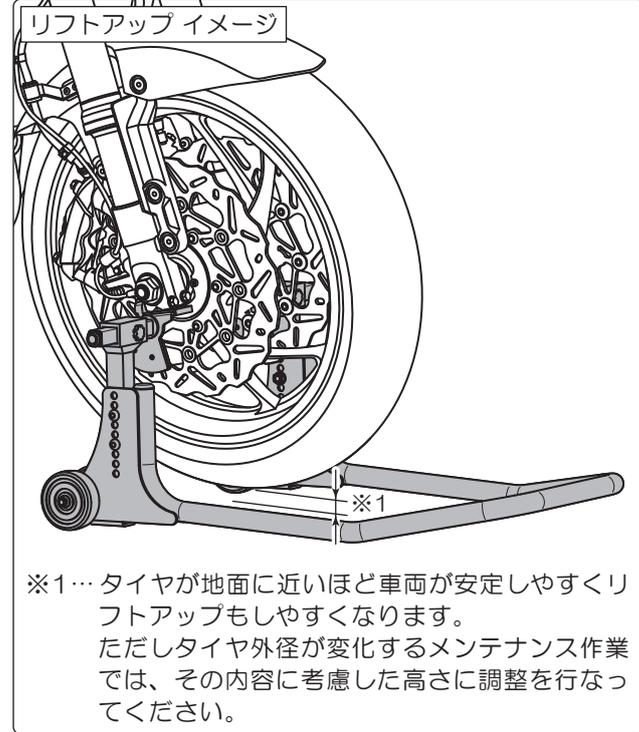
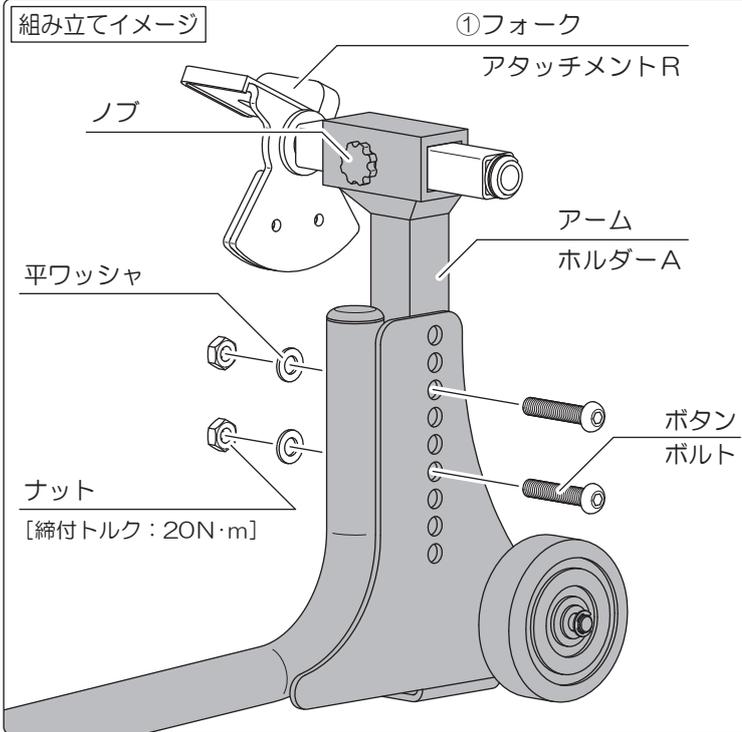
アームホルダーの内外セット時の調整範囲

フォークアタッチメントの受け部寸法



**02. フロントフォークスタンドの組み立て**

- ・手順 01 より高さ寸法を車両に合わせて、アームホルダーをフォークスタンドへ組み付けます。  
※アームホルダーの高さはリフトアップ時にタイヤが少し浮く程度にセットするとリフトアップしやすく車両が安定します。メンテナンス作業に合わせて調整してください。  
例…タイヤ外径が変化(タイヤ交換作業など)する場合は高めに調整が必要です。
- ・「組み立てイメージ」のイラストを参考にボタンプルとナット、平ワッシャを使用し、アームホルダーAとアームホルダーBをフォークスタンドに取り付けます。
- ・アームホルダーへ①フォークアタッチメントRと②フォークアタッチメントLを組み付けます。



※1…タイヤが地面に近いほど車両が安定しやすくリフトアップもしやすくなります。  
ただタイヤ外径が変化するメンテナンス作業では、その内容に考慮した高さに調整を行ってください。

**■商品保証について**  
商品保証とは、通常のご使用において材料または製造上の不具合に起因する故障等が起きた場合、保証規定の範囲において無償修理または交換をお約束するものです。  
1. 保証期間は使用回数に関わらず、ご購入日から1年間となります。  
2. 保証を受ける場合には、お買い上げ日が証明できる書面(レシートなど)が必要となります。  
※保証の対象は、新品かつ正規販売店でのご購入品に限ります。個人売買や中古品、インターネットオークションでの購入品は保証の対象外となります。  
3. 下記のアドレス(またはQRコード)より、保証規定の詳細をご一読のうえ、ご理解・ご承諾ください。

**■保証修理の受付について**  
お買い上げ日が証明できる書面をご用意のうえ、購入店もしくは当社までご連絡ください。

**デイトナ保証規定**  
<https://www.daytona.co.jp/warranty/index.php>  
※保証を受けるご連絡を以って、保証規定にご同意いただいたものとみなします。

インターネットお問合せ  
<https://www.daytona.co.jp/contact/form.php>



株式会社 **デイトナ**  
東証スタンダード上場  
〒437-0226 静岡県周智郡森町一宮4805  
<https://www.daytona.co.jp>

転載 本取扱説明書の内容の一部、  
禁止 または全ての無断転載を禁止